アルコールの身体への影響

長期間の多量飲酒は、アルコール依存症や生活習慣病のリスクを高め、さまざまな内臓疾患の原因になります。

飲酒が引き起こす生活習慣病には、肝障害、膵炎、高脂血症、高血圧症、高尿酸血症、食道がんなどがあります。

飲酒が引き起こすさまざまな病気

・脳出血、脳梗塞、アルコール性認知症、脳萎縮

・咽頭がん、慢性咽喉炎

・食道炎、食道静脈瘤、マロリーワイス症候群

・高血圧、狭心症、アルコール性心筋症

・乳がん

・脂肪肝、アルコール性肝炎、肝硬変

・胃炎、胃かいよう、出血性びらん

・すい炎、糖尿病

・十二指腸炎、十二指腸かいよう

・大腸がん

・小腸炎、吸収不良症候群

・大腿骨骨頭壊死、末梢神経炎

・痛風、高尿酸血症

発行：大阪府こころの健康総合センター